

こ けんり 子どもの権利とは

こ けんり
子どもの権利とは、せいちょうとじょう
成長途上にあり、よわ せんざい
弱い存在でもある子どもたちがくに
大人から適切な支援を受けながらあんしん
安心して成長するためのけんり
権利です。

しかし、れきしてき
歴史的に「子どもは大人のおとな
の所有物」ととら
捉えられていた時期もあり、
けんり
権利の主体としてのじんけん
人権は認められていませんでした。

こ けんり
子どもの人権が守られないじんけん
状況の中で、じょうきょう
大勢の子どもたちがなか
戦争や病気、
つらいろうどう
労働などのぎせい
犠牲になってきました。

そのようなひざん
悲惨な現実をなくしていくため、こ
子どもの基本的人権をきほんてきじんけん
国際的にほしょう
保障するためのしぐ
仕組みづくりがつよ
強く求められるようになりました。

そのようななか
中、1989年ねん
11月、がつ
国連でこ
「子どもの権利条約（けんりじょうやく
児童の権利に関する
条約）」がぜんかい
全会一致でさいたく
採択されました。

このじょうやく
条約は、ちきゅうじょう
地球上のすべての18さい
歳未満の子どもがしゃかいてき
社会的にほご
保護され、
きほんてきじんけん
基本的人権がそんちょう
尊重されるようにとのねが
願いを込めて、やく
約10年にわたるはな
話し合
いを経てつくられました。

げんざい
現在、せかいじゅう
世界中の多くのくに
国がこのじょうやく
条約をひじゅん
批准し、にほん
日本も1994ねん
年にひじゅん
批准して
います。



こ けんり 子どもの権利とは

子どもの権利条約 ~子どもにとっていちばん大切な4つの権利~

1 い きる けんり 生きる権利

子どもたちは、健康に生まれ、安全で
健やかに成長する権利をもっています。

2 まも られる けんり 守られる権利

子どもたちは、あらゆる種類の差別や
虐待から守られる権利をもっています。

3 そだ けんり 育つ権利

子どもたちは、教育を受ける権利
をもっています。また、休んだり遊
んだりすること、様々な情報を得て
自分の考えや信じる事が守られる
ことも、自分らしく成長するために
とても重要です。

4 さんか けんり 参加する権利

子どもたちは、自分に関係のあるこ
とについて、自由に意見を言ったり、
集まってグループを作ったり、活動し
たりすることができます。その時に
は、家族や地域の一員としてルールを
守って行動する義務があります。



子どもの権利条約では、子どもが一人の人間として尊重され、大人と同
じように独立した人格と尊厳を持つ権利の主体とみなしており、文化や法
制度などの違いを越えて、全ての国・地域に受け入れられる普遍的な内容と
なっています。